

**岡崎市総合計画説明会及び
岡崎市都市計画マスタープラン地域別説明会（六ツ美地域） 議事要旨**

日時	令和 2 年 1 月 26 日(日)15:00～16:00
場所	地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里
参加者	33 名

1 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

2 あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

3 各課説明

次期岡崎市総合計画に関する説明（企画課）

岡崎市都市計画マスタープラン（地域別構想まで）に関する説明（都市計画課）

4 質疑応答

質問者 1 岡崎市	・災害において、六ツ美南部地域は隣の西尾市との連携が必要ではないか。 ・災害の連携に関しては、既に近隣市町と協定を結んでいて、災害対策や災害発生時に協力ができるような体制としている。
質問者 1 岡崎市	・西尾は農地における産業地開発が進んでいるが、岡崎の方はあまり進んでいないように思う。 ・位置する農地の状況も考慮すると、なかなかこの場でどうするとお答えするのは難しい。 ・国道 23 号のインターチェンジ付近では、物流倉庫に関して調整区域のまま都市計画法の開発許可が可能な基準がある。そのため、西尾の方では、開発が進んでいるという印象を持たれるかと思う。
質問者 2 岡崎市	・六ツ美地域の住居系市街地の形成とはどのような内容か。 ・具体のまちづくりの方向性は、今後地元の方の意見をいただきながら進める必要があると考えている。居住環境の向上を図るため、市の方としてまちづくりの方向性を示したものである
質問者 3 岡崎市	・矢作川では、浸水区域の想定がされている。近年の環境災害に備えた柔軟な計画であってほしい。 ・環境災害という部分は引き続き検討していく。マスタープランの中では、ハード対策では防ぎきれない災害が必ず起こり得るという観点をもって計画を作っている。ソフト対策についても行政と市民が一緒になって取り組む必要がある。

質問者 4 岡崎市	・六ツ美地域が発展するには、周りの地域との動線（道路）が必要だと思う。 ・岡崎市の全体の道路ネットワークを考え、都市計画として必要なものは位置付け、市で整備するところは整備し、愛知県が整備するところは、要望を伝えていきたい。
質問者 5 岡崎市	・まちづくりに合わせて遊水池を作っていただきたい。 ・まちづくりを行う際には、下流への浸水被害に備える施設を整備していく必要はあると考える。
質問者 6 岡崎市	・六ツ美地域は人を増やそうとしているのか、現状のままなのか。 ・岡崎市はしばらくの間、人口が伸びる予測となっている。六ツ美地域の地域別構想図で住居系市街地の形成とあるのは、今後の人口増加を見込んだうえで位置付けを行っている。
質問者 6 岡崎市	・構想図を見ていると、六ツ美地域の拠点に人が集まるのか疑問に思う。 ・地域拠点では日常生活に必要なサービスを享受できるような市街地を目指している。
質問者 6 岡崎市	・六ツ美地域の農業振興についてどう考えているのか。 ・本地域の農地は、農業保全地の位置づけをして、今後も引き続き保全して、自然環境を維持する方針である。
質問者 7 岡崎市	・地域づくりの目標をもう少し具体的に書けないか。 ・マスタープランではおおまかな方向性を示すものである。それを踏まえたうえでまちづくり構想図や主な施策を展開していく構成である。
質問者 7 岡崎市	・六ツ美地域の将来像の文言は、こういった経緯でできたのか。 ・現状の市街地の状況や新たなまちづくりの方向性を踏まえて地域の将来像を設定している。
質問者 2 岡崎市	・総合計画の計画期間が 30 年で、30 年後の市民税がどうなっているか心配である。 ・30 年後には高齢者の割合は増え、民生費が増加し、支出が厳しくなると考えている。単純に支出を抑制するだけでなく、収入を獲得する手段も増やすことも重要である。抑えるところは抑えつつ、歴史観光産業のような外から収入を得る手段も実行していく。

5 閉会のあいさつ

岡崎市企画課 岡田課長から挨拶

以上